#### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 09157295 A

(43) Date of publication of application: 17.06.97

(51) Int. CI

C07K 14/705

C07H 21/04

C12N 15/09

C12P 21/02

// A61K 31/70

A61K 38/00

A61K 38/00

(C12N 15/09 , C12R 1:91 ), (C12P 21/02

C12R 1:19 )

(21) Application number: 07344504

(71) Applicant:

KAGAKU GIJUTSU SHINKO

**JIGYODAN** 

(22) Date of filing: 05.12.95

(72) Inventor:

SEYA TSUKASA MATSUMOTO MISAKO

# (54) MEMBRANOUS PROTEIN M161AG AND CYCLIC-DNA CAPABLE OF CODING THE SAME

## (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a new membranous protein M161Ag, having a specific amino acid sequence, biosynthetically produced in relation to apoptosis of a cell, having actions on promotion of the clearance of a human myelocytic leuke mic cell and useful as a therapeutic agent, etc., for leukemia, etc.

SOLUTION: This new membranous protein M161Ag has an amino acid sequence represented by the formula or an amino acid sequence substantially the same as that of the amino acid sequence represented by the formula and is biosynthetically produced in relation to the apoptosis of a cell, capable of promoting the clearance of a cancer cell, especially a human myelocytic leukemic cell and useful as a therapeutic agent, etc., for leukemia, etc. The membranous protein M161Ag is obtained by extracting an mRNA from a P39 (+) strain which is a substrain of a myelocytic leukemic cell strain P39, preparing a cDNA library using the resultant mRNA, then screening the prepared cDNA library with a synthetic oligonucleotide capable of coding a part of an amino acid sequence of the membranous protein purified from the P39 (+) strain as a probe, integrating the resultant cDNA into a vector and carrying out the expression thereof in a host cell.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

MERSKEDIG	13 LSPIAATLPA	VAYSONNOE	31 ENESFEEDI	SKYTTTNANG	EGVVKNAHLL 11
ELIOPVLIMOS	71 OKIDOKEPNO	SAPRALEARY	9) KOTGENNV	101 FPSPFESAY	NEALSAGHEI
HALTHCHICHCÓG 13 f	SIKQYIDAHR	141 BELIERNQUU.	151 KOKUHDIŞTE	161 YK•PYSLQPN	173 IKESAPITGY
ALASYLEHOD	ISL RSERYVASEG	201 OGAFFOVTTP	211 NEDFAKOILY	771 YHQHCHESSKI	231 YHTSPVKI.128
241 GPTACHELMRIT	251 VERNYLESTP	ADAKAM <b>ARA</b> 391	271 LEVATEATSE	281 TVRLANKSQY	VIGVDSDQCM
301 X) DE DOE TS	III VLKHKQAVY	BILLDLE BK	EEGYEDVVVK	DEEADKK*SH	191 POTQEEKHG
		321 ETILDLEEK 381 EARKSFREP			

・サー・セレノシスティ: ・サル:技化

## (19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号

# 特開平9-157295

(43)公開日 平成9年(1997)6月17日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	<b>庁内整理番号</b>	FΙ				技術表示箇所
C 0 7 K 14/705		// / Jack Salan J	C07K I	4/705			<b>这样</b> 农小周//
C 0 7 H 21/04			C07H 2			В	
C 1 2 N 15/09	ZNA		C12P 2			·c	
C 1 2 P 21/02			A61K 3	31/70			
// A61K 31/70		9282-4B	C12N 1	5/00		ZNAA	
		審查請求	未請求請求	頁の数2	FD	(全 6 頁)	最終頁に続く
(21)出顧番号	特顧平7-344504		(71)出顧人	396020	800		
				科学技	術振興	事業団	
(22)出顧日	平成7年(1995)12月	平成7年(1995)12月5日			川口市	本町4丁目1:	番8号
			(72)発明者	瀬谷	司		
				来良果	<b>奈良市</b>	蘭舞西町2丁	目10, E-106
			(72)発明者	松本	美佐子		
				東身奈	生胸市	化大和2丁目	20 – 7
			(74)代理人	<b>弁理</b> 士	平木	祐輔	
			}				

(54) 【発明の名称】 膜タンパク質M161Ag及びそれをコードするcDNA

## (57)【要約】

【解決手段】 図1に示すアミノ酸配列、又は図1に示すアミノ酸配列と実質的に同一なアミノ酸配列を有するタンパク質M161Ag、及び前記アミノ酸配列をコードするcDNA。

【効果】 新規な膜タンパク質M161Ag及びそれをコードする c DNAを提供する。

PTO 2002-3859

S.T.I.C. Translations Branch

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 図1に示すアミノ酸配列、又は図1に示 すアミノ酸配列と実質的に同一なアミノ酸配列を有する タンパク質M161Ag。

【請求項2】 図1に示すアミノ酸配列、又は図1に示 すアミノ酸配列と実質的に同一なアミノ酸配列をコード するcDNA。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、新規なタンパク質 10 M161Ag及び当該タンパク質をコードするcDNA に関する。

[0002]

【従来の技術】M161Agは、ヒト骨髄性白血病細胞 株P39(+)に含まれる膜タンパク質であり、第2補 体活性化経路の活性化や補体C3の吸着などの機能を有 する。このタンパク質の単離精製、及びモノクローナル 抗体の作成はすでになされている (Matsumoto et al., J.Exp.Med., 181, 115-125(1995)).

[0003]

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、様々 な生理活性を有する膜タンパク質M161Agをコード するcDNAを単離し、該タンパク質のより効率的な利 用手段を提供することにある。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明者は、M161A gのN末端アミノ酸配列よりプローブを決定し、これを 用いてP39のcDNAライブラリーから陽性クローン を単離することに成功し、本発明を完成した。即ち、本 発明は、図1に示すアミノ酸配列、又は図1に示すアミ ノ酸配列と実質的に同一なアミノ酸配列を有するタンパ ク質M161Agである。

【0005】また、本発明は、図1に示すアミノ酸配 列、又は図1に示すアミノ酸配列と実質的に同一なアミ ノ酸配列をコードするcDNAである。以下、本発明を 詳細に説明する。本発明のcDNAは、以下のようにし てクローニングすることができる。まず、精製されたM 161Agのアミノ酸配列より、プローブを作成する。 M161Agは骨髄性白血病細胞株P39の亜株である P39(+)より、前記したJ.Exp.Med.,181,115-125(1 40 b,文献J.Exp.Med.,181,115-125(1995)参照)をプロー 995)記載の方法に従って、単離精製することができる。 P39は、ジャパニース・キャンサー・リサーチ・リソ ース・バンクが保管している。P39(+) 亜株は、親 株のP39(+)を低温(12℃)下、48時間培養 し、アポトーシス耐性を獲得した株の中から得られる。 【0006】次に、P39より、全mRNAを抽出し、 これから c DNAを合成する。合成した c DNAを適当 なベクターに挿入し、宿主となる微生物を形質転換し、

cDNAライブラリーを作成する。P39 (+) より、

出キットにより行うことができる。 c DNAのクローニ ングは、例えば、PCEV4ベクターの組み込まれたP 39 (+) 細胞の c DN A ライブラリーをスクリーニン グすることにより行うことができる。 ベクターとして は、他にpBluescriptなどを用いることがで きる。形質転換する微生物としては、例えば、大腸菌 株、MC1803などを用いることができる。 スクリー ニングは、コロニーハイブリダイゼーション法により行 うことができる。

【0007】クローニングされたcDNAの大きさは、 約1.3kbであり、その塩基配列は図2及び図3に示 す通りである。これから推定されるアミノ酸配列、即 ち、M161Agのアミノ酸配列は、図1に示す通りで ある。図1に示すようにこのタンパク質の24個のシグ ナルペプチドを含む428個のアミノ酸からなり、推定 分子量は42kDaである。

【0008】本発明の対象となるタンパク質のアミノ酸 配列は、図1に示す配列に限定されず、これと実質的に 同一なアミノ酸配列を有するタンパク質も本発明の技術 的範囲に含まれる。ここで、「実質的に同一」とは、図 1に示すアミノ酸配列の幾つかのアミノ酸残基につい て、欠失、置換、付加等の変化が生じた配列であって、 前記配列と同様に第2補体活性化経路の活性化や補体C 3の吸着など機能を有するような配列をも含むという意 味である。同様に本発明のcDNAの塩基配列も、図1 に示すアミノ酸配列をコードするものに限定されず、こ れと実質的に同一な塩基配列を有するDNAも本発明の 技術的範囲に含まれる。

【0009】M161Agは、細胞のアポトーシスに関 連して生合成される膜タンパク質であり、癌細胞、特に ヒト骨髄性白血病細胞のクリアランスを促進する。従っ て、M161Ag及びそれをコードするcDNAは、白 血病などの治療薬として利用することができる。

[0010]

【発明の実施の態様】

[0011]

【実施例】

〔実施例1〕 cDNAのクローニング

<プローブの作成>M161Agを抗体 (M161A ブとしてP39 (+)株3×10<sup>10</sup>個の細胞可溶化画分 より精製(精製法、上記文献)し、約50μgの精製蛋 白質を得た。本標品をアミノ末端分析機(ABI ペプ チドシークエンサー)にかけ、以下のN末端アミノ酸配 列を得た。

[0012] XGNNDEsNIsFkDIsgY (大文字は確定したアミノ酸を示し、小文字は可能性の あるアミノ酸を示す)

本アミノ酸配列からオリゴヌクレオチドプローブを下記 mRNAを抽出する方法は、市販のInvitrogen mRNA 抽 50 のように作製し、cDNAライブラリースクリーニング

のプローブとした。N末端アミノ酸配列から予想される オリゴヌクレオチドを以下のように合成した。

[OO13] GGA AAC AAC GAT GAA TCC AAT ATT TCA TT C AAA GAG AAA GAT AT (44bp)

<mRNAの抽出>P39の親株及びP39(+)亜株 からInvitrogene mRNA抽出キット(Invitrogene 製)を用いてmRNAを精製した。実際的にはmanufact er'bookletに拠って再現的に精製できた。各種細胞株、 各ヒト臓器からも同様の方法でmRNAを抽出した。 <cDNAライブラリーの作成>P39(+)亜株から 得たmRNAをRNase(-) reverse transcriptase (GIBC OBRL製) によりcDNAに変換した。さらにDNA polyme rase (Toyobo製) により二重鎖DNAとして、これにB stXIリンカーを付加した。リンカー付加DNAをB stXI切断したpCEV4に組み込み、発現法(抗体 スクリーニング)、オリゴプローブ法(オリゴヌクレオ チドスクリーニング)、いずれでもスクリーニングが可 能のcDNAライブラリーを作製した。 オリゴプローブ 法用にはpCEV4/cDNAをMC1803大腸菌株 (大阪大学野島博士より恵与) にエレクトロポレーショ 20 の c DN Aが得られないことを確認した。 ン法により注入した。発現法用にはpCEV4/cDN AをCOS細胞 (ATCCより購入) にトランスフェク トした。トランスフェクトは、エレクトロポレーション 法で行った。発現法では陽性クローンを得られなかった ので、前者についてのみ以下に述べる。

<陽性クローンのスクリーニング>約106 個のMC1 803コロニーを、すでに作製したオリゴヌクレオチド をプローブとしてスクリーニングし、2個の陽性クロー ンを得た。スクリーニングはニトロセルロースシートを 用いた通常法 (Maniatis et al., Molecular cloning, 19 30 列の前半部分を表す図 89) に拠った。2個の陽性クローンはともに0.9kb で完全長でないことが推定された。

<cDNAの塩基配列の決定>2個の陽性クローンをD NAシークエンサー(ABI373A)にかけて全塩基 配列を決定した。先にアミノ末端分析で決定したシーク エンスを含むが、ATG開始コドン、ポリAシグナル、 ポリAテイルを含まないシークエンスが得られた。本シ

ークエンスをもとに3'RACE法、5'RACE法を 併用し、図2及び図3に示す最終シークエンスを得た。

〔実施例2〕 ノーザンブロッテイング

ノーザンブロッテイングは、約10μgのRNAを各レ ーンにアガロース電気泳動し、既報 (Maniatis et al., Molecular cloning,1989) に従ってブロットを行った。 アマーシャムのハイブリダイゼーションバッファーを用 いて、ランダムプライマー法でラベルしたプローブとブ ロットを60℃、4時間ハイブリダイゼーションを行っ た。さらに65℃、0.2×SSCでwashing を行い、 オートラジオグラフィーで陽性バンドを検知した。この 結果を図4に示す。図4に示すようにP39(+) 亜株 ではM161Agに対応するRNAが検出されたが、P 39 (一) 亜株では検出されなかった。

[実施例3] RT-PCR法

Perkin Ermer Cetusのキットを用いてプロトコールに準 拠して行った。もとのP39 (+) のmRNAから全長 の図2及び図3に示したcDNAがRT-PCR法で得 られること、P39親株を含んだ他のmRNAから同様

[0014]

【発明の効果】本発明は、新規な膜タンパク質M161 Ag及びそれをコードするcDNAを提供する。M16 1 Agは、ヒト骨髄性白血病細胞のクリアランスを促進 するので、本発明は、白血病の治療薬開発等に利用する ことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 M161Agのアミノ酸配列を表す図

M161AgをコードするcDNAの塩基配 【図2】

【図3】 M161AgをコードするcDNAの塩基配 列の後半部分を表す図

P39株由来のRNAの電気泳動の結果を示 【図4】 す写真

P39株等のmRNAから調製したcDNA 【図5】 の電気泳動の結果を示す写真

【図6】 mixture primerの塩基配列を表す図

# 【図1】

【図6】

mixtore	primer
mixture	primer

1	i 1	21	31	41	KQVVKNAELL
MKKSKKILLE	LSPIAAILPA	VAVSCONNOB	SNISFKEKDI	SKYTTTNANG	
61	71	81	91	101	NSALSAGHKI
KLXPVLITOB	GKIDDKSFNQ	SAFEALKAIN	KQTGIEINNV	EPSSNFESAY	
121	131	141	151	i 61	171
*VLNGFKHQQ	SIKQYIDAHR	EGLERNQUKI	KIDFDIETE	Yk•fyslqfn	IKESAFTIGY
181	191	201	211	221	231
ALAS*LSEQD	ESKRVVASFO	GGAFPGVTTP	NEOFAKOILY	YNQKHKSSKI	YHTSPVKLDS
241	251	261	271	281	291
CETAGERMINT	VINNVLSSTP	ADVKYNPHVI	LSVACPATFE	TVRLANKGQY	VIGVDSDQGM
301	311	321	331	341	351
IQDEDRILTS	VLXHIKQAVY	ETILDLEEK	BEOYEPYVVK	DKKADKK*SH	PGTQKEK*KG
361	371	381	391	401	411
VAENHFSNIE	EQAKINNKIK	BAIKMFKELP	EDFVKYINSD	KALKDGNKID	NVSERLEAR

5' -GGNAA AA GA GA A -3'

3' Wpriner

5'-ATATCIINT TCNAGAA-3'

\* : セレノシステイン

\*\*: 統止

421 SAINKAAK\*\*

[図2]

【図3】

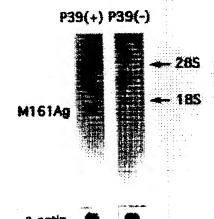
10	20	30	40	50 ATTGACTOUT	50
ANCOCATEA	TATESANNAG	TCHANNAMA	TITIBUTAGE	ATTGACTURE	ATTGCTA
				110	
10	A CHILL GOVERNMENT	30	TOO	ATCCANTAGE	120
130	140	150	160	170 AAAACAAGTT	180
AGRANGATAT	TRUTALLING	ACCROANCES	atgutartes	MANCANGTY	<b>ELLINATIVACE</b>
				230	
CERTAINER	ARRETTERAR	COCTUCTO	TTACKENTIA	VCCENTIZZ	CHICATANA
250	260	270	280	TRANCALACT	300
CATTINACCA	ATCAGCITIT	GALCCTTTAL	AMECENTRAL	THACABACT	CATALITY CANAL
21.0	***	***	240	350	7.60
TTANCANTET	TORROTTEGO	TOMOTTE	ALLGREETTA	CANCHESCO	CTTTCACCCC
370	380	390	400	410	120
GACACAAAA	TIGAGIACTI	AATGGETTEA	ALCACOLICA	RICIRIINA	CATACATTO
. 435	440	AKO	461	470	490
ATCCTCACAG	RCHAGACTT	CHICALTO	AMECUANT	CATRGETATO	CACTITICATA
450	500	510	520	530	540
TTENNOGA	GENERAGEGA	TICIACICAT	SYCHOLOGY	TATERNACIA	TERGUALITIA
550	560	570	580	590	600
CMCAGGCTA	TOCHATIGO	ACTIGATION	GEGRACIAGE	TGALAGIALA	AGAGTTETTO
410	620	- G0	640	680	660
CHICATERG	TOCHESTICA	TICCOME	TTALMICATE	ZAACIZAAGET	TITULANDO
670	580	690	700	710	720
GENTICIAEN	CENCHACUNA	AAACATAAA	CHACTIANA	TEACCACACA	TOLOCTOTIA
730	740	750	760	770	760 AATGESTINA
MATERONCIC	WANTE LINE	GETERNA	ANTENNE AL	HELLIAL TRACE	MATOLITICAL
790	800	<b>830</b>	620	230	840
CETCANCACC	ACCIGATOR	ANNOUGH	CACAMGITAG	CTTRUCTGIT	CCTGGACTTG

840	860	870	750	190	900
CTACATTEA	ANCTOPANCE	TEACCANACA	ANGCTCANTA	190 TOTANTTGGT	GITCACTCAG
				950	
910	220	330	TECTURCATO	ACTICIDANA	CACATTANAC
970	980	990	1000	1018	1020
				AGNAGAAGGA	
1030	1048	1050	1060	1070	1,080
ATGIAGITAA	AGACAMAAAA	GCDAGACAAAA	ANTGANGCOL	CITTICANCI	CHANGIN
				1130	
1090	TOTAL DEAD	AMERICATION	CANATION	YENCHES	AMATTANA
1150	1160	1170	1180	11.90	1200
<b>NOVARATERA</b>	AGAAGCAATT	AMMIGITIA	ANGENTIACE	AGAMENTITIC	GUIDANTELA
1910	1770	1230	1240	1250	1250
TENATAGEGA	CAMPORTER	ARAGATGOTA	ATRABATIGA	CATGITAGE	CUMCATTAG
					1 796
1270	1280	1290	(1300	1310	ATTREMEDIA
AAGCAATTAT	TICINCINIT	AND TO PROPERTY.	# ±	= F2	
1.330	1340	1350	1390	⇒ Fン. 1370	1380
ATATOCAGC	TITTITATI	TARKTATERA	ANAGOREM	THEFTCE	ATTITUDAL
				. 1498	1445
1.390	1400	1410	1620	1430 LAGATARATAR	CHANNE
ARATTAGET	AAMCAGTETT	. ACCRITATION	1017Catharra		
1456	1460	1470	1481	1490	1,500
GITGIAAAN	TOCCTUREN	AMANGERGET	CONTRACTO	AMERITAN	ACCRAMETAL.
			184	1950	1560
151	1521	LEATOTATAC	arrentess.	CHACALTON	TOMPATTIC
LIMILIALT	T WT/FERFTY TOW				. 1670
157	0 156	159	160	161	1670
ATTITUME	i incharta	S VLICHTIME	· Comment	r rimmanda	• •••
163	0 168	0 165	0 166	0 167	1680
A 143					

【図4】

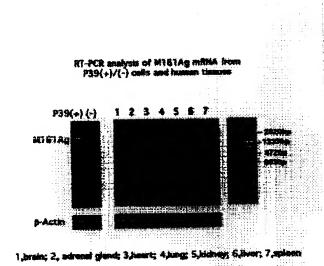


# Northern blot analysis of M161Ag mRNA in P39(+)/(-) cells



【図5】

# 周期代用写真



## フロントページの続き

(51) Int.Cl.6 A 6 1 K		識別記号 ADV	庁内整理番号	FI A61K 3	7/02	ADV	技術表示箇所
(C12N	15/09	ZNA					
C 1 2 R	1:91)						
(C12P	21/02						
C 1 2 R	1:19)						



## **DERWENT TERMS AND CONDITIONS**

Derwent shall not in any circumstances be liable or responsible for the completeness or accuracy of any Derwent translation and will not be liable for any direct, indirect, consequential or economic loss or loss of profit resulting directly or indirectly from the use of any translation by any customer.

Derwent Information Ltd. is part of The Thomson Corporation

Please visit our home page:

"WWW.DERWENT.CO.UK" (English)
"WWW.DERWENT.CO.JP" (Japanese)



## **MACHINE-ASSISTED TRANSLATION (MAT):**

(19)	【発行国】	
------	-------	--

日本国特許庁(JP)

## (19)[ISSUINGCOUNTRY]

Japanese Patent Office (JP)

## (12)【公報種別】

公開特許公報 (A)

Laid-open (Kokai) patent application number (A)

#### (11)【公開番号】

特開平9-157295

## (11)[UNEXAMINEDPATENTNUMBER]

Unexamined-Japanese-Patent 9-157295

# (43)【公開日】

平成9年(1997)6月17 June 17th, Heisei 9 (1997)

## (43)[DATEOFFIRSTPUBLICATION]

**ZNA** 

)

В

C

#### (54)【発明の名称】

それをコードするcDNA

## (54)[TITLE]

膜タンハク質M I 6 I A g 及び Membrane protein M161Ag and cDNA which codes it

# (51)【国際特許分類第6版】

C07K 14/705 C07H 21/04 C12N 15/09 C12P 21/02

// A61K 31/70

ZNA

ADV

(C12N 15/09 ZNA C12R 1:91

38/00

(C12P 21/02 C12R 1:19 (51)[IPC] C07K14/705

C07H21/04 C12N15/09

C12P21/02 //A61K31/70

38/00 ADV

(C12N15/09 ZNA C12R 1:91 )

(C12P21/02 C12R 1:19

#### [FI]

9282-4B

C07K 14/705 C07H 21/04 C12P 21/02 A61K 31/70

C12N 15/00

A61K 37/02

С

В

[FI] C07K14/705

C07H21/04 C12P21/02

A61K31/70

ZNA A C12N15/00 A61K37/02

ADV

ZNAA9282-4B

**ADV** 



[EXAMINATIONREQUEST] UNREQUESTED 未請求 【審查請求】 [NUMBEROFCLAIMS] Two 2 【請求項の数】 [Application form] FD FD 【出願形態】 [NUMBEROFPAGES] Six 【全頁数】 6 (21)[APPLICATIONNUMBER] (21)【出願番号】 Japanese-Patent-Application-No. 7-344504 特願平7-344504 (22)[DATEOFFILING] (22)【出願日】 December 5th, Heisei 7 (1995) 平成7年(1995) 12月5 (71)[PATENTEE/ASSIGNEE] (71)【出願人】 [IDCODE] 【識別番号】 396020800 396020800 【氏名又は名称】 Japan Science & Technology Corporation 科学技術振興事業団 [ADDRESS] 【住所又は居所】 埼玉県川口市本町4丁目1番8 77 (72)[INVENTOR] (72)【発明者】 Tsukasa Seya 瀬谷 司 【氏名】 [ADDRESS] 【住所又は居所】 奈良県奈良市鶴舞西町2丁目1 0, E - 106(72)[INVENTOR] (72)【発明者】 Misako Matsumoto 【氏名】 松本 美佐子 [ADDRESS] 【住所又は居所】

奈良県生駒市北大和2丁目20



-7

(74)【代理人】

(74)[PATENTAGENT]

【弁理士】

[PATENTATTORNEY]

【氏名又は名称】 平木 祐輔

Yusuke Hiraki

(57)【要約】

(57)[SUMMARY]

【解决手段】

図1に示すアミノ酸配列、又は 図1に示すアミノ酸配列と実質。 的に同一なアミノ酸配列を有す るタンハク質MI6IAg、及 び前記アミノ酸配列をコードす SeDNA

[SOLUTION]

The amino acid sequence shown in Figure 1, Or protein M161Ag which has the substantially same amino acid sequence as the amino acid sequence shown in Figure 1, And cDNA which codes the above-mentioned amino acid sequence.

【効果】

新規な膜タンハク質M161A g 及びそれをコートする c D N A を提供する。

[EFFECTS]

Novel membrane protein M161Ag and cDNA which codes it are provided.

【特許請求の範囲】

[CLAIMS]

【請求項1】

図1に示すアミノ酸配列、又は 図1に示すアミノ酸配列と実質 的に同一なアミノ酸配列を有す るタンハク質M161Ag。

[CLAIM 1]

The amino acid sequence shown in Figure 1, Or protein M161Ag which has the substantially same amino acid sequence as the amino acid sequence shown in Figure 1.

【請求項2】

図1に示すアミノ酸配列と実質 的に同一なアミノ酸配列をコー ドする c DNA。

[CLAIM 2]

図1に示すアミノ酸配列、文は The amino acid sequence shown in Figure 1, Or cDNA which codes the substantially same amino acid sequence as the amino acid sequence shown in Figure 1.

【発明の詳細な説明】

[DETAILED DESCRIPTION OF INVENTION]



[0001]

[0001]

【発明の属する技術分野】 本発明は、新規なタンハク質M LELAの及び生活タンハク質

本発明は、新規なタンパク質M 161Ag及び当該タンパク質 をコードする c D N A に関す る。 [TECHNICAL FIELD]

This invention relates to novel protein M161Ag and cDNA which codes concerned protein.

[0002]

[0002]

【链来四技術】

M 1 6 1 A g は、ヒト骨髄性自 血病細胞株 P 3 9 (-) に含ま れる膜タン・2質であり、第2 補体活性化経路の活性化や補体 C 3 の吸着などの機能を有す る このタンハク質の単離精製、 及びモノクローナル抗体の作成 は す で に な さ れ て い る ( Matsumoto et [PRIOR ART]

M161Ag is membrane protein contained in the human myelocytic-leukemia cell strain P39 (+).

It has functions, such as activation of a second complement activated route, and the adsorption of a complement C3.

An isolated purification of this protein and preparation of a monoclonal antibody are already made (Matsumoto et al., J.Exp.Med., 181,115-125 (1995)).

[0003]

125(1995)

al., J. Exp. Med., 181, 115-

[0003]

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、様々な生理活性を有する膜タンパク質M 1 6 1 A g をコードする c D N A を単離し、該タンパク質のより効率的な利用手段を提供することにある。

[PROBLEM ADDRESSED]

Objective of the invention, It is in isolating cDNA which codes membrane protein M161Ag which has various biological activities, and providing use means more efficient than this protein's.

[0004]

[0004]

【課題を解決するための手段】 本発明者は、M161AgのN 未端アミノ酸配列よりプローブ

[SOLUTION OF THE INVENTION]

This inventor determines a probe from N terminal amino acid sequence of M161Ag. It succeeds in isolating a positive clone from



を決定し、これを用いてP39 のeDNAライブラリーから陽性クローンを単離することに成功し、本を明を完成した。即ち、本を明は、図1に示すアミノ酸配例、又は図1に示すアミノ酸配例と実質的に同一なアミノ酸配列と実質的に同一なアミノ酸配列と有するタンハク質<math>M16 LAgである。

### [0005]

また、本発明は、図工に示すて ミノ酸配列、又は図1に示すで ミ /酸配列と集質的に同一なア ミノ酸配列をコードする c D N Aである。以下、 体発明を評細 に説明する。 ねを明カビDNA は、以下のようにしてクローニ ングすることができる。まず、 精製されたM161Agのアミ 7酸配列より、プローブを作成 する。MI61Agは骨髄性自 血病細胞株P39の亜株である P39 (一) より、前記した J.Exp.Med., 181, 115-125(1995) 記載の方法に従って、単離精製 することができる。P39は、 ジャパニース・キャンサー・リ サーチ・リソース・バンクが保 管している。P39(+) 亜株 は、親株のP39 (+) を低温 (12C) 下、48時間培養し、 アポトーシス耐性を獲得した株 の中から得られる。

#### [0006]

次に、P39より、全mRNA を抽出し、これからcDNAを 合成する。合成したcDNAを 適当なバクターに挿入し、宿主 となる微生物を形質転換し、c DNAライブラリーを作成す

cDNA library of P39 using this.

This invention was completed.

That is, this invention, the amino acid sequence shown in Figure 1, Or it is protein M161Ag which has the substantially same amino acid sequence as the amino acid sequence shown in Figure 1.

## [0005]

Moreover, this invention, the amino acid sequence shown in Figure 1, Or it is cDNA which codes the substantially same amino acid sequence as the amino acid sequence shown in Figure 1.

Hereafter, this invention is explained in detail. CDNA of this invention can be cloned as follows.

First, a probe is prepared from the amino acid sequence of purified M161Ag.

M161Ag can be isolate-and-purified from P39 (+) which is the substrain of the myelocytic-leukemia cell strain P39, according to the method of above-mentioned J.Exp.Med. 181,115-125 (1995) description.

Japanese Cancer-Research resource bank is storing P39.

P39 (+) substrain cultivates P39 (+) of a parent strain for 48 hours under low temperature (12 degrees-Celsius), and is obtained out of the strain which acquired apoptosis resistance.

## [0006]

Next, from P39, mRNAs of total are extracted and cDNA is synthesized after this.

Compound cDNA is inserted in a suitable vector and the microorganism used as a host is transformed.

CDNA library is prepared.

Commercially available InvitrogenmRNA



る、P39 (+) より、mRN 八を抽出する方法は、市販の Invitrogen mRNA 抽出キットに より行うことができる。cDN 八のクローニングは、例えば、 pCEV4ペクターの組み込ま れたP39(~ )細胞のcDN Λライブラリーたスクリーニン グすることにより行うことがで きる。スクターとしては、他に pBluescriptなどを 用いることかできる。形質転換 する微生物としては、例えば、 大腸菌株、MC 1803などを 用いることができる スクリー エングは、コロエーハイブリダ 子ゼーション法により行うこと かできる。

## [0007]

クローニングされた c DNAの大きさは、約1.3 k b であり、その塩基配列は図2及び図3に示す通りである。これから推定されるアミノ酸配列、即ち、M161A gのアミノ酸配列は、図1に示す通りである。図1に示す通りである。図1に示す通りである。図1に示すようにこのタンバク質の24個のシグナルペプチドを含む428個のアミノ酸からなり、推定分子量は42 k Daである。

#### [0008]

本発明の対象となるタンパク質のアミノ酸配列は、図1に示す配列に限定されず、これと実質的に同一なアミノ酸配列を有するタンパク質も本発明の技術的範囲に含まれる。ここで、「実質的に同一」とは、図1に示すアミノ酸配列の総つかのアミノ酸

extracting kit can perform the method of extracting mRNA from P39 (+).

A cloning of cDNA can be performed by for example, screening cDNA library of P39 (+) cell where pCEV4 vector was integrated.

As a vector, pBluescript etc. can be used other.

As the microorganism to transform, for example, an Escherichia-coli strain and MC1803, etc. can be used.

A screening can be performed by the colony hybridization method.

## [0007]

The sizes of cloned cDNA are about 1.3 kbs.

The base sequence is as being shown in Figure 2 and 3.

The amino acid sequence estimated from now on, that is, the amino acid sequence of M161Ag is as being shown in Figure 1.

As shown in Figure 1, it consists of 428 amino acids containing 24 transit peptides of this protein.

Presumed molecular weight is 42kDas.

#### [8000]

The amino acid sequence of protein used as the subject of this invention is not limited to the sequence shown in Figure 1. Protein which has the substantially same amino acid sequence as this is also contained in the technical range of this invention.

範囲に含まれる。ここで、「実質 Here, "it is substantially the same" is the 的に同一」とは、図1に示すア sequence which the change of deletion, ミュ酸配列の幾つかのアミュ酸 substituted, addition, etc. produced about



残基について、欠失、置換、付加等の変化が生した配列である。前記配列と同様に第2補体活性化や補体で3補体に避路の活性化や補体で3な配列をも含むという意味で5な配列をも含むという意味である。同様に本発明のcDNAものに関す、これと実質的に同一な塩基配列を有するDNAも本発明の技術的範囲に含まれる。

[0009]

MI6IAgは、細胞のアホトーシスに関連して生合成される膜タンパク質であり、癌細胞、特にヒト骨髄性自血病細胞のクリアランスを促進する。従って、MI6IAg及びそれをコードする。DNAは、自血病などの治療薬として利用することができる。

[0010]

【発明の実施の態様】

[0011]

【実施例】

【実施例1】

でDNAのクローニング スプローブの作成⇒M161A gを抗体(M161Ab, 文献 J.Exp.Med.,181,115-125(1995) 参照)をプローブとしてP39 (+)株3・10<sup>10</sup> 個の細胞可 several amino acid residues of the amino acid sequence shown in Figure 1, comprised such that it is the meaning that the sequence which has functions, such as activation of a second complement activated route and the adsorption of a complement C3, as same as the abovementioned sequence is also contained.

Similarly, the base sequence of cDNA of this invention, It is not limited to that which codes the amino acid sequence shown in Figure 1. DNA which has the substantially same base sequence as this is also contained in the technical range of this invention.

[0009]

M161Ag is membrane protein by which a biosynthesis is carried out in relation to the apoptosis of a cell.

Clearance of a cancer cell, in particular a human myelocytic-leukemia cell is accelerated.

Therefore, M161Ag and cDNA which codes it can be utilized as therapeutic agent, such as leukemia.

[0010]

[The aspect of implementation of invention]

[0011]

[Example]

[Example 1]

A cloning of cDNA

<Pre>Preparation of a probe> M161Ag was purified
from the cell solubilization fraction of 3\*1010
P39 (+) strains, having made the antibody
(M161Ab and literature J.Exp.Med., 181,115125 (1995) reference) as the probe (a
purification method, above literature).



溶化画分より精製(精製法、上記文献)し、約50μgの精製蛋白質を得た。本標品をアミノ末端分析機(ABI ペプチドンークエンサー)にかけ、以下のN末端アミノ酸配列を得た。

The purification protein of about 50 micro-g was obtained.

This preparation was applied to the amino

This preparation was applied to the amino terminal-analysis machine (ABI peptide sequencer), and the following N terminal amino acid sequences were obtained.

## [0012]

## XGNNDE s N I s F k D I s g Y

(大文字は確定したアミノ酸を示し、小文字は可能性のあるアミノ酸を示す)

本アミノ酸配列からオリゴスクレオチドブローフを下記のように作製し、cDNAライブラリースクリーニングのブローブとした。N末端アミノ酸配列から予想されるオリゴスクレオチドを以下のように合成した。

## [0012]

## XGNNDEsNIsFkDIsgY

(A capital letter showing the settled amino acid. A small letter shows a possible amino acid.) An oligonucleotide probe is produced as follows from this amino acid sequence.

It made as the probe of cDNA library screening.

The oligonucleotide estimated from N terminal amino acid sequence was synthesized as follows.

## [0013]

## GGA AAC AAC GAT GAA TCC AAT ATT TCA TTC AAA GAG AAA GAT AT (44bp)

AMRNAの抽出。P39の親 株及びP39 (+) 亜株から Invitrogene mRNA抽出キット (Invitrogene 製) を用いてm RNAを精製した。実際的には manufacter'booklet に拠って再 現的に精製できた。各種細胞株、 各ヒト臓器からも同様の方法で mRNAを抽出した。

A c D N A ライブラリーの作成 シP 3 9 (+) 亜株から得た m R N A を RNase(-) reverse transcriptase (GIBCOBRL 製) により c D N A に変換した。さ らに DNA polymerase (Toyobo 製)により二重鎖D N A として、 これに B s t X I リンカーを付

#### [0013]

## GGAAACAACGATGAATCCAATATTTCATTCA AAGAGAAAGATAT(44bp)

<Extracting of mRNA> mRNA was purified from the parent strain of P39, and P39 (+) substrain using InvitrogenemRNA extracting kit (made by Invitrogene).

In fact, manufacter'booklet has purified in reproduction.

MRNA was extracted by the method similar also from various kinds of cell strains and each human organ.

<Preparation of cDNA library> mRNA obtained from P39 (+) substrain was transformed into cDNA by RNase(-) reversetranscriptase (made by GIBCOBRL).

Furthermore, BstXI linker was added to this as double chain DNA by DNApolymerase (made by Toyobo).

Linker addition DNA is integrated in pCEV4 which carried out BstXI cutting. The expression method (antibody screening), the oligo probe



加した。リンカー付加DNAを。 BstXI切断したpCFV4 に組み込み、発現法(抗体スケ サーニング)、オリゴフローで法 (オリゴスクレオチドスクリー ニング) いず冠でもスクリーニ ングが可能のでDNAライプラ リーを作製した。オリゴブロー び法用にはpCEV4」「cDN △をMCT803大腸菌株(大 阪 程学野島博士より恵与) にエ レクトロボレーション法により 注入した。 発現法用にはpCF V4~cDNAをCOS細胞 (A年ででより購入) にトラン スプエグトした。 トランスプエ クトは、エレクトロポレーショ ン法で行った。免現法では陽性 グローンを得られなかったの で、前者についてのみ以下に述 · < 35.

陽性クローンのスクリーニング  $\widehat{n}$   $\widehat{1}$   $\widehat{1}$   $\widehat{0}$   $\widehat{0}$ 

・ c D N A の塩基配列の決定と 2個の陽性クローンをD N A シークエンサー(A B I 3 7 3 A) にかけて全塩基配列を決定した。先にアミノ末端分析で決定 したシークエンスを含むが、A T G 開始コドン、ボリ A シクナル、ホリ A テイルを含まないシークエンスが得られた。本シー method (oligonucleotide screening), and cDNA library in which either has a possible screening were produced.

For oligo probe methods, pCEV4/cDNA was injected by the electroporation method in MC1803 Escherichia-coli strain (it is given from Dr. Nojima, Osaka university).

For expression methods, pCEV4/cDNA was transfected into COS cell (it purchases from ATCC).

The transfection was performed by the electroporation method.

By some expression method, since the positive clone was not obtained, only the former is stated below.

<A screening of a positive clone> It is screened about 106 MC1803 colonies, making the oligonucleotide which already produced as a probe.

Two positive clones were obtained.

The screening was based on the usual method (Maniatis et al., Molecular cloning 1989) using the nitrocellulose sheet.

Both two positive clones are 0.9 kB, and it was estimated that it is not complete length.

<Determination of the base sequence of cDNA> Two positive clones were applied to the DNA sequencer (ABI373A), and base sequences of total were determined.

The sequence previously determined with the amino terminal analysis is contained.

However, the sequence which does not contain ATG initiating codon, a poly A signal, and a poly A tail was obtained.

3'RACE method and 5'RACE method are used together on the basis of this sequence.

The final sequence shown in Figure 2 and 3 was obtained.



クエンスをもとに3'RACE 法、5'RACF法を併用し、 図2及び図3に示す最終シーク エンスを尋た。

#### 【集施例2】

ノーザンプロッテイング ノーザンプロッティングは、約 TOμgのRNAを各レーンに アガロース電気水動し、既報 ( Maniatis et al., Molecular cloning,1989) に従ってブロッ 下を行った。アマーシャムのパ イプリダイセーション ベッファ 一を用いて、ランダムプライマ 一法でラベルしたプローブとブ ロットをもりで、4時間ハイブ リダイセーションを行った。さ らに650、0.2≥880で washing を行い、オートラジオ グラフィーで陽性パンドを検知。 した。この結果を図すに示す。 図4に示すよう(CP39 (+)) **亜株ではM161Agに対応す** るRNAが検出されたが、PB 9 (一) 亜株では検出されなか った。

## 【実施例3】

RT-PCR法

Perkin Ermer Cetus のキットを 用いてプロトコールに進拠して 行った。もとのP39(一)の mRNAから全長の図2及び図 3に示した c DNAがRTーP CR法で得られること、P39 親株を含んた他のmRNAから 同様の c DNAが得られないこ とを確認した。

[0014]

## [Example 2]

Northern blotting

A northern blotting carries out the agarose electrophoresis of the RNA of about 10 micro-g at each lane.

It blotted according to the previous report (Maniatis et al., Molecular cloning 1989).

60 degrees-Celsius and 4 hour hybridization were performed the probe and a blotting which carried out the label by the random primer method, using the hybridization buffer of an Amersham.

Furthermore washing was performed by 65 degrees-Celsius and 0.2\*SSC, and the positive band was detected with autoradiography.

This result is shown in a Figure 4.

As shown in a Figure 4, RNA corresponded to M161Ag was detected in P39 (+) substrain.

However, in P39 (-) substrain, it was undetectable.

#### [Example 3]

RT-P CR process

According to the protocol, it performed using the kit of PerkinErmerCetus.

It confirmed that cDNA shown in Figure 2 and 3 of a full length is obtained from original mRNA of P39 (+) by RT-P CR process, and that similar cDNA was not obtained from other mRNA containing P39 parent strain.

[0014]



## 【発明の効果】

本発明は、新規な膜タンパク質 M161Ag及びそれをコード するcDNAを提供する。M161Agは、ヒト骨髄性白血病 細胞のクリアランスを促進するので、本発明は、白血病の治療 薬開発等に利用することができる。

#### [EFFECT OF THE INVENTION]

This invention provides novel membrane protein M161Ag and cDNA which codes it.

M161Ag accelerates clearance of a human myelocytic-leukemia cell.

Therefore this invention is applicable to therapeutic-agent development of leukemia etc.

#### 【図面の簡単な説明】

## [BRIEF EXPLANATION OF DRAWINGS]

## [||| 1 ]

M 1 6 1 A g のアミノ酸配列を 表す図

## [FIGURE 1]

The figure showing the amino acid sequence of M161Ag

#### 【図2】

M16 LAgをコードするcDNAの塩基配列の前半部分を表す図

#### [FIGURE 2]

The figure showing the first-half part of the base sequence of cDNA which codes M161Ag

## 【図3】

M 1 6 1 A g をコードする c D N A の塩 基配列の後半部分を表 す図

## [FIGURE 3]

The figure showing the second-half part of the base sequence of cDNA which codes M161Ag

#### 【図4】

P39株由来のRNAの電気泳 動の結果を示す写真

#### [FIGURE 4]

The photograph in which the result of the electrophoresis of RNA derived from P 39 strain is shown

#### 【図5】

P39株等のmRNAから調製 したcDNAの電気泳動の結果 を示す写真

#### [FIGURE 5]

The photograph in which the result of the electrophoresis of cDNA prepared from mRNA such as P39 strain etc. is shown

## 【図6】

mixture primer の塩基配列を表 す図

## [FIGURE 6]

The figure showing the base sequence of mixtureprimer

#### 【図1】

#### [FIGURE 1]



| 1                 | i i                 | 21         | 31         | 41         | 51         |
|-------------------|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| MKKSKKILLG        | L <u>spiaailp</u> a | VAVSCONNDE | SNISFKEKDI | SKYTTTNANG | KQVVKNAELL |
| 61                | 71                  | 8:         | 91         | 101        | 111        |
| KLKPVLITDE        | GKIDDKSENQ          | SAFEALKAIN | KQTGIEINNV | EPSSNFESAY | NSALSAGHKI |
| 121               | 131                 | 141        | 151        | 161        | 171        |
| •VLNGFKHQQ        | SIKQYIDAHR          | EELERNQIKI | IGIDEDIETE | YK•FYSLQFN | IXESAFTIGY |
| 181               | 191                 | 201        | 211        | 221        | 231        |
| AIAS*LSEQD        | ESKRVVASFG          | GGAFPGVTTF | NEGFAKGILY | YNQKHKSSKI | YHTSPVKLDS |
| 241               | 251                 | 261        | 271        | 281        | 291        |
| GFTAGEKMINT       | VINNVLSSTP          | ADVKYNPHVI | LSVAGPATFE | TVRLANKGQY | VIGVISDQGM |
| 301               | 311                 | 321        | 331        | 341        | 351        |
| IQDKDRILTS        | VLKHIKQAVY          | ETLLDLILEK | FEGYKPYVVK | DKKADKK*SH | FGTQKEK*KG |
| 361               | 371                 | 381        | 391        | 401        | 411        |
| VAENHFSNTE        | EQAKINNKIK          | EAIKMFKELP | EDFVKYINSD | KALKDGNKID | NVSERLEAN  |
| 421<br>SAINKAAK** |                     |            |            |            |            |

\* :セレノシステイン

\*\*:##

#### Figure 1

\*: Selenocysteine, \*\*: Ending

【図2】

[FIGURE 2]

Initiating codon



【図3】

[FIGURE 3]

850 860 870 880 890 930 ULACATETA ACTIGAACA TELACATETA ACTIGATICAS 910 920 930 940 950 960 ACCARGORAT GATTURAGAC AGAMMAGAA TYCTTACATC AGTTUTAGAA CACATHAAAC 370 980 990 1000 1010 1020 ANICTOTTTA TORANCATTA TINGATOTTA TITOTTGANAA AGAADAAGGA TATANAACCAT 1030 1040 1050 1050 1070 1080 ATGIAJTIAA AGACAAAAAA GCAGACAAAA NATGAAGCCA CITTGGAACI CAAAAGAAA 1150 1160 1170 1180 1190 1200 ACAMANTHA ANAGGANTI ANANTHIN ANGANTHOC AGAAGATTIC GITAMATAIA 1210 1220 1250 1240 1259 1260 TTANTAGTON CHARGETTA ARMONIGOTA MINARATUGA CHARGETENGT GANAGATTAG 1270 1280 1290 1300 1310 1320
AAGCAAITAT ITCTXXXXTT AACAAGGGGG CAAAFAATT AATCAAAAA ATGCTGGARA 1330 1340 1350 1360 1370 1380
ATATICACA DITENTATE TAMATAKAN AMAGRAM TETRITGIRA ATTITICAN 1390 1400 1410 1420 1430 1440 AAATTAGATA AAACAGTTTT TOCGUTUTTG TOTTGARATA AGATARATAA GAGAARAAAG 1451 1460 1470 1480 1490 1500 GITGITARARI TOCCTRALPA ANAMIGAGIT GGRARACHIA ANAGITRARG ACCARACTER 1510 1520 1530 1540 1550 1560 TTANCTACTT ANGACTITUM GATOGATACG GITCHIOGGE GIACHATGEN TGANTACTIC 1570 1580 1590 1600 1610 1620 ATTITGATIT TRAINAING RITGROTACA GAAZIALACT TERABARAR RIRARARARA 1660 1650 1640

Figure 3
Ending codon

[図6]

[FIGURE 6]

mixture primer

5' Mprimer

3 Offprimer

Figure 6 (top to bottom)
5' side primer, 3' side primer



[|以4]

[FIGURE 4]

國面代用写真

# Northern blot analysis of M161Ag mRNA in P39(+)/(-) cells

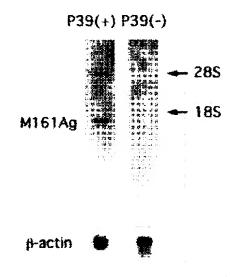


Figure 4: Replaced by photo

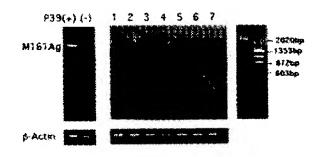
【図5】

[FIGURE 5]



的關代用写真

RT-PCR analysis of M161Ag mRNA from P39(+)/(-) cells and human trasums



1,brain; 2, adrenal gland; 3,heart; 4,lung; 5,kidney; 6,liver; 7,spleen

Figure 5: Replaced by photo